

2024年 4月 17日

三菱電機株式会社
代表執行役社長 漆間 啓 様
三菱重工業株式会社
取締役会長 宮永 俊一様

平和と民主主義をめざす全国交歓会・京都
代表 佐藤和利
京都府伏見区桃山羽柴長吉中町55-1
コーポ桃山105号
(連絡先) 090-8384-5984 杉谷伸夫

イスラエルのガザ虐殺に加担する戦闘機・兵器の共同開発と輸出、
イスラエルへの投資を中止して下さい

イスラエルはパレスチナ・ガザへの攻撃とジェノサイド（集団虐殺）を続けています。人口230万人のガザでは4万人もの市民の命が奪われ、約7万人が負傷しています。犠牲者の70%は女性と子どもです（3月現在）。国際司法裁判所（ICJ）はイスラエルに対してジェノサイドを防ぎ民間人殺害を停止する命令を出しました。

このような中で三菱電機および三菱重工業は、岸田内閣の大軍拡と戦争政策に乗じて、戦闘機の国際共同開発と武器輸出を推進しています。そして、ガザの市民虐殺を続けるイスラエルに加担しています。

三菱重工業はイギリスのBAEシステムズ社およびイタリアのレオナルド社との次期戦闘機開発を進めています。この戦闘機は、日本政府が敵基地攻撃能力の強化を進めている下で、中国、朝鮮、アジア太平洋地域での戦争に使うことが狙われています。さらに、海外に輸出して第三国の市民を殺傷することが現実になろうとしています。

BAEシステムズ社とレオナルド社のイギリス工場で作った戦闘機F-35の重要部品がイスラエルに輸出されています。F-35が発射したミサイルが、ガザの女性や子どもを殺害しているのです。両社は、ガザのジェノサイド（集団虐殺）を進める戦争犯罪企業です。三菱重工業との戦闘機共同開発はイスラエルと結託する両社に一層の利益を与え、現在進む虐殺に加担することです。イギリスではRAEシステムズ社とレオナルド社の各工場への抗議行動が広がっています。

三菱電機は米国と並んでイスラエルに武器を提供しているイギリスとのミサイル共同開発を行ってきました。イスラエル企業への投資も進めています。フィリピンへの武器輸出や、オーストラリアとの武器共同開発も進めています。

市民の命を奪う戦争によって、三菱重工業と三菱電機は莫大な利益を上げています。このようなことは許されません。すでに伊藤忠商事や日本エヤークラフトサプライは、ICJのジェノサイド防止命令を根拠にして、イスラエルの軍事大手企業エルビット・システムズとの協力を打ち切りました。

私たちは貴社に以下のことを実行することを要請します。

1. 一切の武器の国際共同開発や輸出を行わないこと
2. イスラエルのガザ虐殺兵器提供企業であるBAEシステムズ社・レオナルド社との次期戦闘機の共同開発を中止すること
3. イスラエルとの軍事関係をはじめとしたあらゆる取引を行わないこと

以上